



塩浜学園学校運営協議会だより

市川市立塩浜学園
学校運営協議会
第 5 号
平成29年3月13日

～一年間の集大成！塩浜学園の取り組みを市内へ発信！～

第5回学校運営協議会概要

- 《日時》 平成29年 2月18日(土) 13時30分～15時30分
- 《場所》 塩浜学園前期課程校舎 図書室
- 《構成》 学識経験者・地域関係者代表・保護者代表・指定学校の校長・指定学校の教職員(計15名)
- 《次第》 協議・報告 ①はまっこくらぶ・はまっこサポートについて [地域学校協働本部]
②評価について
③平成29年度 学校運営方針について など

来年度、コミュニティ・スクールに指定される市内の学校の先生方も傍聴されました。

【協議会の内容】

①はまっこくらぶ・はまっこサポートについて [地域学校協働本部] (協議)

《提案の概要》(抜粋)

前回は提案させていただいた「塩浜連合子ども会」を立ち上げることで、地域学校協働本部の中核団体と位置づけて、ここからネットワークの輪を広げていく方向となりました。塩浜学園の場合、行徳支所管内が通学可能な範囲のため、PTAとタイアップして、在籍する子どもたちはすべて「はまっこくらぶ」(連合子ども会)の一員とみなして活動しようと思います。新年度のPTA総会でご承認いただき、連合子ども会が開催する行事をバックアップしていきたいと考えています。また、コミュニティクラブとも共催していろいろな行事をやっていきます。大人がサポートしながら地域の行事等に参加したり、子ども会だけでも行える活動を考えていきます。



今後の活動について、「はまっこくらぶ」は塩浜学園に通うすべての子どもたちを地域の中で支えるというサポーターとしてつなぐ仕組みが「はまっこサポート」なので、来年度以降も継続させていただきたいと思っています。「はまっこくらぶ」のファイルの名簿に参加者の印を付けるだけで、どのぐらいの子どもたちが参加しているのかということが明らかになり、よりサポートもしやすくなりました。各自治会やそれぞれの団体で周知していただいて、活動の提案を学校に寄せていただくなど、さらにまとまりながら進めていければと思っています。

《協議の概要》(抜粋)

- ・子どもが減っている分、連合子ども会ができるということを知り、とてもよかったと思っています。
- ・長くゆっくりと続けていくことで、1つの学園1つの子ども会という考えが定着していくと思います。
- ・子どもたちへの周知は広まっていますが、保護者の方々の参加が懸念されることです。保護者も気軽にできるような活動になるよう、どのような形で広めていけばいいか考えているところです。
- ・子どもたちと接点を持ちたいと考えているため、何とかして呼び込みたいと思っています。

提案通り、「塩浜連合子ども会“はまっこくらぶ”」の活動及び名称、そして今後の活動について、全会一致で承認が得られました。今後、益々の発展が期待されることです。



②「評価について」(協議)

《提案の概要》(抜粋)

「学力に関する取り組み」「自己肯定感や表現力に関する取り組み」「不登校や問題行動に関する取り組み」「生活習慣や家庭学習に関する取り組み」「部活動の活性化に関する取り組み」の5つの観点で調査しました。また、「自尊感情」に関するアンケートも、2回目を行いました。アンケートでは様々な結果が出ますが、「しっかりと丁寧に対応し、寄り添った指導を進めていく」「小さいことなども見逃さないように教職員がアンテナを高くして見守っていく」「個別に対応を図りながら注意喚起していく」ことで、引き続き子どもたち一人ひとりをしっかりと見ていきたいです。また、学校の会議等を通して、地域の方とPTAの方がつながることは大変うれしいことですので、さらに周知していきたいです。



《協議の概要》(抜粋)

- ・7月と12月の結果を相関係数で見ると、数値からしても非常に強い相関が見えます。子どもたちはよく頑張っており、年度の後半になっても、よく健闘していることが伺えます。
- ・地域の大人が子供たちと接する際に、難しい面を感じています。そのため、先生方から子どもとの接し方のアドバイスをいただけると有難いですし、いい意味で子どもたちと仲良くなっていければと感じています。
(*裏面へ続きます)



《協議の概要》(抜粋)

- 数値を見たときに、子どもと親とでは、感じ方に違いがあるのではないかと思います。今回の結果を見ましても全般的には数値が高いため、評価されている証拠であると思います。
- 保護者のアンケートの回収率が高いことは、大変素晴らしいことだと思います。保護者が学校に対する関心を高めているからであると思います。
- 本来子どもは、いろいろと素直に言えてこそ、自尊感情が育つと思います。押しつけられてしまったら、自尊感情は育たなくなってしまうため、注意しながら見ていきたいと思います。それと同時に、年上の人が保護者に対して、その意見を育てていけるようになればとも感じました。
- お話を聞いていると、学力はそれほどではないけれど、心が十分に育っていると思います。数値の上昇・下降に一喜一憂せず、自信を持って分析して問題点を把握し、対応していることがよくわかります。あまり問題にとらわれずに、多少学力が低くても、心が育てば立派な大人になります。バランスが問題ですし人格の部分为学校で築いていただき、自信を持って日々努力していただければと思います。



アンケートは調査のひとつであるため、日頃より、一人ひとりの子どもたちの活動を見守ることが大切であるとされました。また、教育委員会より「塩浜学園小中一貫教育に関するアンケート」についての報告もありました。

③平成29年度 学校運営方針について (協議)

《協議の概要》(抜粋)

今年度同様、「義務教育学校“市川市立塩浜学園”として、9年間の豊かな“学び”と“育ち”をつなぎ、系統性・連続性を重視した教育を行うとともに、小規模校の良さを十分に発揮できる学校を目指す」ということを方針とします。学力面では、「9年間を見通した授業規律の確立」「Mブロックにおける部分教科担任制の充実」「外国語活動・英語教育の充実」、豊かな心の面では、「リーダーの育成(自尊感情の高揚)」に努めてまいります。健やかな体の面では、部活動の活性化に伴い、益々の体力づくりの部分、運動のスキルの向上を目指していきたくと考えています。安全に関する取り組みにつきましても、継続的に続けてまいります。信頼される学校の面では、学校運営協議会も充実しており、委員の皆様よりたくさんのご意見をいただいておりますので、来年も益々の充実を図っていきたくと考えています。

提案通り、平成29年度の学校運営方針につきまして、全会一致で承認が得られました。



④海洋教育について (報告)

《報告の概要》(抜粋)

2月17日(金)に東京大学海洋アライアンス 海洋教育促進研究センターと市川市が「海洋教育促進拠点」として連携を図るための締結式が行われました。市内の5校(妙典小学校・行徳小学校・福栄小学校・南新浜小学校・塩浜学園)で海洋教育を促進していくため、横の連携を図り海洋教育を高め合いながら進めていきたいと考えています。「海洋教育パイオニアスクールプログラム」の助成金は、書画カメラ・タブレット(5台)・関連する書籍の購入に充てさせていただきました。タブレットは、子どもたちの発表に活用していきます。

塩浜ふるさと防災科と地域の連携について、5・6・7年生が地域の方から防災についてお話を聞き、縦割りのグループに分かれ、調べたことをもとに発表会を行いました。また、自治会より公園の老朽化に伴い「ハイタウン塩浜中央公園リニューアル計画」というお話をいただいております。この計画に普段から防災について学んでいる塩浜学園の児童生徒の意見を取り込んでいただけるとのことですので、来年度、実際に動いていく方向で考えています。



⑤施設整備について (報告)

《報告の概要》(抜粋)

「塩浜小中一貫校に関する基本計画」の中の「5つの“つなぐ”視点(児童生徒をつなぐ、教職員をつなぐ、家庭・学校・地域をつなぐ、理念をつなぐ、教育活動をつなぐ)」に基づいて施設の検討をしています。文部科学省の整備方針等も参考にしていますが、全体として“つなぐ”という視点に沿った整備を行いたいと考えています。スケジュールにつきましては、今後1年かけて設計を行い、平成30年度途中より実際の工事に移る予定です。そして、新校舎及び新体育館の完成は、平成32年夏頃を見込んでいます。

学校長より

開校当時懸念された一貫校に対する不信感や不安はかなり払拭されていると感じています。子どもたちにも愛校心や所属意識が芽生えて、「自分は義務教育学校塩浜学園の児童生徒なんだ」という誇りが芽生えてきているように感じています。本校の校歌の一節に、「潮香かおる学び舎に 光り輝く みんなの笑顔」「無限に広がる夢描く」「新たな未来へ踏み出そう」とあります。この言葉のように、また来年、新たな未来に一步踏み出していきたいと考えています。一年間、いろいろご協力いただきまして本当にありがとうございました。来年度もよろしく願いいたします。